



れんけいと支援



富山市今泉北部町2-1 / Tel: 076 (422) 1112 (代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp> / 発行日 2012年4月

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

富山市・医師会急患センターとの協働 - 急性期病院としての役割



富山市病院事業管理者 泉 良平
富山市民病院 院長

「富山市・医師会急患センター」は、当院敷地内にて行われていました移転新築工事が終了し、昨年10月から稼働いたしました。そして、富山市医師会会員のお力によって、移転後も大きな問題なく診療が行われています。これまでより広い診療スペースの中で、充実した初期救急医療が行われていることは、医師会員皆様のお力とご理解のたまものと感謝と敬意を表したいと思います。

急患センター稼働後、当院への一次救急と思われるwalk inの患者さんの来院が明らかに減りました。さらに、救急患者入院率は昨年よりも上昇し、本来の2次救急医療機関としての役割を果たせていると感じています。このことは、急患センター移転に伴って、富山市及び富山市医師会が行った初期救急に対する啓発が功を奏したことで、救急医療体制への市民の理解が深まったおかげかと思えます。一方、昨年発生しました救急患者さん受け入れについての問題はいまだ解決したわけではなく、小児救急を含め、より体制を強化したいと考えています。

さて、既にご案内のように、富山市民病院は昨年から地方公営企業法の全部適用となり、病院経営がこれまでよりも円滑に行えるようになってきています。看護師などの採用については、病院現場の意見がより多く取り入れられ、急性期病院の機能を維持するための人材確保に対する富山市の理解が深まっています。より正しい医療を市民の皆様にご提供できるよう努力いたします。

本年4月から、ICU病床数をこれまでの6床から12床に増やしました。救急輪番日のみならず、日常的に多くの重症患者さんを受け入れる体制をとることができます。本年2月には、入院患者数も多く、せっかくのご紹介をお断りすることがあり、誠に申し訳なく思っています。ICUの効率的な運用を含め、急性期病院・地域医療支援病院としての役割を發揮いたしたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

Contents

富山市・医師会急患センターとの協働 ... 1
研修・講演・勉強会のご案内 2.3
4月の地域連携・開放型病床症例検討会報告 ... 3
新任医師紹介 4.5
睦美会 看護講演 川嶋みどり先生 看護を語る！ 5
診療所・病院・施設訪問 6
がん薬物療法認定薬剤師について 7
第5回有害事象モニタリングセミナー開催報告 ... 7
医師不在のお知らせ 7
認定看護師とエキスパートナースからのメッセージ ... 8
編集後記 8

1 . 地域連携・開放型病床症例検討会

5月

日時：5月8日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「ペインクリニックにおける最近の帯状疱疹後の神経痛の加療」

麻酔科 中西 拓郎

本邦で帯状疱疹ウイルスの抗ウイルス製剤が発売されて久しいが、現在でもその薬を使用した患者のおおよそ2割程度が帯状疱疹後神経痛となり、当院ペインクリニック外来に紹介される。発病から1か月程度経過して痛みが再燃した高齢者のかたが多い。皮疹のできたデルマトームに沿って感覚鈍麻があり、痛み発作はその領域を針で刺すような「ピリピリ痛」と時々「びりびり痛」が走るといったもので、また、そつと触ることで「異常な不快感」や痛みを訴えるアロデニ

ア(異痛症)という特徴ある神経因性疼痛も認められ、ずいぶんQOLやADLを阻害している感がある。今でも治療の開始が遅れると難治性となる。本来、帯状疱疹後神経痛は感覚神経の障害であるが、まれに運動障害を伴うこともある。これらの再燃性・慢性化した病態は今でもまず神経ブロックが中心となる。抗血小板薬・抗凝固薬のためブロックができないケースも稀ではない。最近の麻酔科における治療戦略の概要をお話しする予定である。

症例検討

1)『3年間に2回発症した肺炎球菌肺炎、敗血症の一例』

紹介医 吉山医院 吉山 泉先生 呼吸器内科 山本 宏樹

2)『腹部大動脈瘤人工血管置換術後総腸骨動脈尿管瘻の一例』

紹介医 長谷川病院 長澤 丞志先生 呼吸器血管外科 関 功二

6月

日時：6月12日(火) 19:00~20:15 場所：当院3階 講堂

ミニレクチャー：「C型肝炎の新しい治療」

消化器内科 樋上 義伸

2 . 内科CPC

日時：5月8日(火) 17:30~
場所：医局カンファレンス室

3 . 糖尿病研究会定例学習会

5月の開催はありません。
6月の開催日は6月7日の予定です。

4 . 感染予防対策学習会

日時：5月7日(月) 17:45~19:00
場所：講堂

テーマ 「標準予防策と経路別予防策について」

講師 当院感染対策アドバイザー
波多江 新平先生

5 . 院内医療機器研修会

日時：5月10日(木) 17:45~18:15
場所：集団指導室

テーマ 「酸素療法の種類と使い分けについて」

講師 院内臨床工学士

6 . 緩和医療委員会学習会

日時：5月8日(火) 18:00~19:00
場所：集団指導室

テーマ 「緩和ケアについて」

講師 緩和ケア内科医師 船木 康二郎

7 . 乳腺エコー学習会

(術後症例検討)

日時：5月15日(火) 16:00~

場所：病理検査室

対象：医師、臨床検査技師、放射線技師、他

*前月手術された症例をエコー中心に検討します。

*日時が変更になる場合がありますので、参加希望の方は事前にご連絡ください。

8 . 透析看護認定看護師

公開講座

日時：5月21日(月) 17:45~

場所：講堂

テーマ 「透析療法の適応と種類、原理について」

講師 透析看護認定看護師 松木 理浩

9. 褥瘡対策学習会

日時：5月25日(金) 17:45～18:45

場所：集団指導室

テーマ「褥瘡の定義・褥瘡の評価」

講師 皮膚科医師 野村 佳弘

10. NST学習会

日時：5月28日(月) 18:00～19:00

場所：講堂

テーマ「栄養スクリーニングと栄養評価のエビデンス」

講師 外科医師 月岡 雄治

11. 接遇力向上研修会

日時：第1回 5月30日(水) 13:15～16:00

(第2回 6月28日(木) 13:15～16:00)

場所：講堂

テーマ「トラブルを未然に防ぐ接遇力と院内コミュニケーション」

講師 当院接遇向上委員会委員長 置塩 良政
今年度も「地域の医療、介護、福祉施設」の皆様にも参加していただきたく昨年と同様の内容で今年度も2回開催することになりました。研修の詳細につきましては、別紙を同封いたしましたので、ご参照ください。

研修の横に対象となる職種マークをつけました。お気軽にお越し下さい。



12. 看護研修

《新任看護職員研修》

日時：5月1日(火) 14:00～16:00

場所：講堂

テーマ「呼吸・循環を整える技術」

日時：5月26日(土) 13:00～17:15

場所：講堂

テーマ「人工呼吸器管理研修」

《平成24年度 看護研究サポート》(看護研究研修会)

日時：5月23日(水) 17:45～19:00

場所：集団指導室

テーマ「第1回 研究計画書を立てる前に」

《衛星研修S - QUE Eナース》

日時：5月2日(水) 17:40～18:50

場所：講堂

テーマ「急変はここから始まる 瞬時の対応」

基礎

日時：5月16日(水) 17:40～18:50

場所：講堂

テーマ「急変患者の病態を知り実践を読む」

応用

《衛星研修S - QUE 特別企画》

日時：5月25日(金) 17:00～19:30

場所：講堂

テーマ 病院環境フォーラム '12東京

「病院看護職のための診療報酬/介護報酬」

特別講座

新任医師紹介



どうぞよろしくお願
い申し上げます

五十音順



ごしま けんいち
五嶋 謙一先生
整形外科

スポーツ整形、膝、肩関節を専門としております。地域のスポーツ医療に貢献できるよう、微力ながらがんばりたいと思います。



しば やすたか
芝 靖貴先生
内科

昨年度まで関東で勤務しており4月より、地域医療に携わりたいと思い故郷の富山に帰ってきました。よろしくお願ひします。



しばた こう
柴田 幸先生
小児科

地域医療に貢献できるよう、日々研鑽を積んでまいりたいと思います。よろしくお願ひします。



しょうじ やすひろ
庄司 泰弘先生
外科

富山市の地域医療連携のため、微力ながら全力を尽くしたいと思ひますので、宜しくお願ひ致します。



たかぎ ともはる
高木 知治先生
整形外科

整形外科医として、微力ながら地域医療に貢献したいと思ひます。



つきおか ゆうじ
月岡 雄治先生
外科

4月より生まれ育った富山市に帰ってきました。地域のみなさんの健康のため努力していきます。



ふなもと ともあき
舟本 智章先生
内科

微力ながら地域の医療に貢献できる様、努力させていただきます。よろしくお願ひします。



みやがわ たらう
宮川 太郎先生
腎臓内科

明るく、元気よく、地域の皆さまのお役に立てるよう頑張ります。宜しくお願ひします。



みやした まつき
宮下 松樹先生
形成外科

安心・安全をモットーとし、親切丁寧な対応にて、地域医療に貢献できるよう、尽力させていただきます。



もり かずや
森 和也先生
外科

4月より外科に着任いたしました。短い期間ではございますが、少しでも皆様のお力となれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。



よしえ ゆういち
吉江 雄一先生
放射線科

地域医療に貢献できるように頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



病院ボランティア
篠崎 佳子

臨床研修医



いけだ さきよ
池田 紗希代先生
臨床研修医

様々なことを学びながら、2年間、精一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



ふなさが まさひろ
舟坂 雄大先生
臨床研修医

4月から初期臨床研修医として、富山市民病院にお世話になります。地域の患者さんのお役に立ち、地域医療に貢献できるようがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。



ほり だいすけ
堀 大介先生
臨床研修医

ふるさとの富山から医師としての第一歩を踏み出せることに感謝します。よろしくお願いいたします。



睦美会 看護講演 川嶋みどり先生 看護を語る！

3月24日（土）に日本赤十字看護大学名誉教授 川嶋みどり先生をお招きして、睦美会看護講演会を開催いたしました。講演には、看護学生や地域の医療機関・施設、院内の看護師合わせて161名の参加がありました。

川嶋先生はテーマを「看護を語り患者に触れることの意味」とし、看護の原点や震災後の東北での活動の中から、現在の医療・看護の現場での器械重視・データ重視のあり方について疑問を投げかけ話しをされました。また、医療器械に囲まれた環境のなかで、患者に触れなくなった看護師たちの現状を話され、看護の「看」の成り立ちは「手」と「目」であり、患者に触れ、癒し、慰める手の有用性を力説されました。講演の最後には川嶋先生自ら参加者の手を取り、手をさすることの大切さを伝えて下さいました。

川嶋先生は、日本の看護界に大きな功績を残し、現在もパワフルに活動し、講演前日は東北へ訪問されていましたが、疲れた様子を全く感じさせることなく、力強い声と楽しい話術で会場を魅了していました。参加者それぞれが、看護の原点を振り返り、触れることの意味をあらためて考えるよい機会となりました。



“睦美会”とは看護の質の向上と懇親を目的として講演会の開催など様々な活動を行っている当院の看護師の会です。

《連載企画》 診療所・病院・施設訪問 85 松岡内科胃腸科クリニック

今回は「松岡内科胃腸科クリニック」を訪問させていただきました。

名 称	医療法人社団 松岡内科胃腸科クリニック
住 所	富山県富山市上飯野1-3
医 師	松岡 利彦 先生
標 榜 科	内科・胃腸科・放射線科
診察日・時間	月・火・水・木・金曜日の午前 9:00~12:30 月・火・水・金曜日の午後は14:30~18:00 土曜日は9:00~13:00 木・土曜の午後、日曜・祝祭日 休診
施設区分	無床診療所

訪問記



松岡内科胃腸科クリニック前景



松岡利彦先生



松岡先生とスタッフの皆さん

春の日差しに桜の花が一気に咲き始めた4月13日、富山市上飯野の“医療村”にある松岡内科胃腸科クリニックへ訪問させていただきました。院長の松岡 利彦先生は金沢大学医学部付属病院、厚生連高岡病院を経て、平成17年にご出身の新庄地区で開業、内科・胃腸科・放射線科を標榜されています。

松岡先生にクリニック内を案内していただきお話を伺いました。「クリニックを建てる時に大切にされたことは、1番に患者さんの動線を考え、看護師さんが動きやすいようにしたこと。」と先生から伺いました。診察室と処置室は一続きになっていて、スタッフが患者さんを誘導しやすいように考えられていました。点滴用ベットは寝返りによる転倒転落などを予防し心地良く治療が受けられるようにと幅に余裕がある低床のリクライニング式のシングルベットを使用しているとお話くださいました。先生が常に患者さんとスタッフの安全安楽を考えた診療されている様子が伺え、医療への思いやりが伝わってきました。

地域医療についての思いをお聞きすると、先生は「診察時、患者さんが気軽に何でも相談できるような関係でありたい。日頃からどんなことでも相談にのり、地域に根付いた、皆様から頼られるクリニックを目指します。」と話されていました。当院との連携については、企業や店舗が多いこの地域では、勤務地がこの地区で自宅は婦中町方面という方もおられ、自宅から比較的近い当院への紹介を希望されることがあるとのことでした。

した。

クリニックのスタッフの方々は先生を含め8名で「“あうん”の呼吸でスタッフのサポートがあり、チームワークは抜群」和気あいあいとした普段の雰囲気を感じられました。玄関のドアの横にはディズニーのアンティークなベンチがあり、開院前にいらっしゃる患者さんが立って待たなくても良いようにと設置されています。先生の様々な心遣いに感動しながら、松岡内科胃腸科クリニックと当院との地域連携が是非、今後も良好でありたいと願いし帰路につきました。



処置室

がん薬物療法認定薬剤師について

薬剤科 がん薬物療法認定薬剤師 廣上 典和



近年著しい医療の高度化と、それに伴う多様化により医療の現場における薬剤師を取り巻く環境は大きく変化しています。これまでの薬剤師の業務は、薬局内での医薬品の調剤などが主体だったのですが、これらに加えて複数の医療専門スタッフが組織的に診療に取り組む「チーム医療」の一員としての役割が重要となってきています。最近ではこのチーム医療が進展し、より高度な専門知識や技術が求められるようになったため、薬剤師でも専門認定制度が発足しました。このような背景の中で、私は、国立がんセンター中央病院での3ヶ月研修等を経て、昨年10月にがん薬物療法認定薬剤師に認定されました。今後、がん薬物療法認定薬剤師として、がん薬物療法を行う患者さんに対し、安全でかつ安心して治療を受けられる環境を提供するべく、抗がん剤の作用機序、副作用とその対策の説明や、副作用に対する予防・症状緩和のマネージメント等に力を注いでいきたいと思っております。

第5回有害事象モニタリングセミナー開催報告

薬剤部 萩行 正博

3月7日に、第5回有害事象モニタリングセミナーを開催しました。今回は皮膚疾患・薬疹をテーマに2つの講演を行いました。

まず、私から、帯状疱疹や薬疹等の皮膚疾患で入院された患者さんへの服薬指導についてお話をさせていただきました。次に、皮膚科の野村医師から、薬疹についての講演を行っていただきました。薬疹の原因となる薬剤や、重症薬疹の特徴について、多くの写真を交えながら分かりやすく解説していただきました。薬疹は薬剤が原因となる疾患であり、我々薬剤師も正しい知識を身に付けておく必要があると実感しました。

本セミナーは、院外薬局の開局薬剤師の方を対象に開催しています。会場の都合上、小規模での開催となっておりますが、皆さん進んで質問をされ、充実したセミナーとなっております。業務多忙の中、開局薬剤師の方もこのように積極的に勉強され、病院との連携を深めるために尽力しておられます。今後も本セミナーの継続と、さらなる内容の充実を目指し努力していきたいと考えています。



医師不在のお知らせ

外来担当日の休診のみ掲載

5月分

科名	不在日	医師名	科名	不在日	医師名
内科	11日、23日	林	呼吸器・血管外科	16日、17日	草島
	11日	石浦		18日、25日	瀬川
	2日	村本		24日	関
	24日、29日	森永	整形外科・関節再建外科	11日、18日、22日	澤口
形成外科	24日、25日	置塩		9日、10日、11日、14日、18日	坂越
神経科	23日、24日、25日	伊東	耳鼻科	11日	加勢
小児科	18日	中川			

その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

病棟、手術室、ICU

の紹介



今月は 東病棟3階

東病棟3階は、こどもの疾患で入院治療する全科を担当している小児病棟です。こどもが大好きな私達スタッフは、「こどもの味方」をアピールできるようにキャラクターのユニフォームを着て、笑顔でケアを行っています。

小児の入院は夕方から夜間が多く、救急センターと病棟との連携をとり安心できる看護を提供するため、小児救急看護認定看護師が家族やスタッフからの相談に対応しています。また、小児特有の感染症での入院が多く、当院認定の感染対策看護エキスパートナー스가中心となり、病棟内の感染管理を行っています。

平均在院日数5日間と短期間の中、新生児から思春期の成長発達著しい時期の「こどもの権利」を守るために、プレパレーション（心の準備）を行なっています。限られた入院生活の中、成長発達に合わせた遊びや病棟内の季節の装飾、プレイルームの環境を保育士と共に整えています。入院治療により、成長発達が後退することのない関わりや環境作りに努めています。また、学童期のこどもには堀川小学校の教師が来院し、病気の回復にあわせて勉強をすすめています。



体調が優れず泣きながら入院してくるこども達や、急な入院で家庭や仕事の調整に困っていた家族も、こどもが回復し元気な笑顔を見せることで家族も笑顔になります。退院時、家族揃って笑顔で「バイバイ」をする姿が、私達スタッフの元気の源です。

今後は、小児救急の充実に向けて小児救急トリアージを充実させ、こどもとご家族を1日も早く笑顔にすることに努めていきたいと思っております。



ふれあい地域医療センタースタッフ異動のご案内



4月からふれあい地域医療センターへ異動してまいりました仙石 佳代です。

今後は退院調整業務を中心に地域のみなさまと関わっていきます。一日も早く、病院と地域をつなぐ力となれますよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

春の富山市の魅力の一つは、3000m級の北アルプスの山々が、30万都市(旧)の直ぐ後ろにそびえ立っているのを、間近に望めることです。例えば、五福方面から富山大橋を渡る時、多くのビル群が連なる街並みの背後に、まだ雪で覆われた雄大な山々が連なり、最近大きく拡張されたばかりの橋や市電・車を含めた景観は、非常に素晴らしいものであり、他の都市にはない誇れるものです。

さて、今年は4月に診療報酬と介護報酬が同時改訂され、診療報酬は在宅が重視されるようになったと報道等聞きました。そのため地域連携は益々重要になります。この紙面も今まで以上に地域とのコミュニケーションにつながればと思います。



薬剤部 吉崎 洋一

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 FAX 076 (422) 1154

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/>
がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp